

門真市議会議員

井上まり子

くらし・教育・福祉最優先
の市政つらぬき、
しっかり市政をチェック



◎東日本大震災の教訓をふまえ、早期の「地域防災計画の見直し」を求める

避難所の確保、古川の強度、液状化の想定、津波想定、ハザードマップの見直し、減災計画の重要性など、また耐震化の促進についても求めました。

◎「北島市街化調整区域」のまちづくり、地元の意向をしっかり把握し、原風景を残すことを求めました。



大型開発予定の北島市街化調整区域

《子育て支援に頑張ります》

子ども医療費助成制度の拡充に取り組む

「子育て施策の拡充」こそ「定住したいまち門真」を実現できる一歩と議会で粘り強く訴え、2010年10月から小学校入学前まで広がり、さらに今年7月から小学校3年生までの助成が広がりました。

「奨学金、必要な子どもにはできるだけ出したい」と市長の答弁ひきだす。

日本共産党を代表しての井上議員の質問に対し、これまで奨学金を削減していたことに対し、市長は勉学を望む子どもへの思いが述べられました。今後、奨学金制度の拡充に向け頑張ります。



《教育環境の整備めざします》

- 国の交付税を活用して**学校図書館司書の設置**を求めました。
- これまで議会要望してきた、**公立幼稚園のエアコン設置**が実現しました。
- 五月田小学校の**大規模改修**が予定されています。

また今年度は大和田小学校校舎・体育館が耐震改修され、体育館の痛んだ床も同時にきれいにされます。二島小学校の校舎、第7中学校の体育館も耐震改修されます。



五月田小学校校舎

《市政のチェックもしっかり取り組みます》

元国会議員秘書を年間240万円で「行政運営アドバイザー」に「目的に矛盾」を厳しくチェック!

議会では、目的が「国庫補助金、交付税の充実・確保」と答弁しておきながら、実際の契約では「行財政全般の助言」となっていることを明らかにさせ、目的の矛盾を浮き彫りにさせました。また「市が大学の先生に講演依頼した場合、1回5万円ぐらい」で、問題のある予算計上と厳しく指摘しました。

住民票等コンビニ交付は「赤字事業」「プライバシーの侵害に問題」と迫る!

国が住基カードの普及をすすめ、国民を共通番号制(マイナンバー)で管理することに繋がる危険があり、また予算執行上大きな支出をとまなうものと厳しく追及しました。

市民ニーズを聞かないで、早々と「中期財政見直し」の土地売払い計画は問題!

「中期財政見直し」の土地売払い計画にあがっている弁天池横の養護老人ホーム、青少年活動センター、さつき園・くすのき園などの跡地を境界確定する予算計上について、昨年9月に広報で市民に公表したばかり、1年も経っていないのに市民ニーズを聞くこと無しに拙速に進めることは問題と、厳しく指摘しました。

土地開発公社解散、有効な土地活用を求めました

3月議会、土地開発公社解散について提案されました。土地開発公社はバブル期に、市が土地を先行取得し、有効に活用されず財政に深刻な影響を及ぼしてきたことを、日本共産党はしっかり指摘し解散を求めてきました。今後の有効な土地活用を求めました。